

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	乳幼児等健康診査事業	コード	02-02-01-01	担当課	保健課 健康係
事業実施期間	昭和41年～	担当者	小林 民恵	電話	64-1820
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり			
	小項目	母子保健(歯科保健を含む)			
	施策	一貫した母子保健の推進 生活習慣病の予防 母と子の虫歯予防			

事業について	
目的	疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣、歯科、栄養、育児等に関する指導を行うことにより、妊産婦・乳幼児の健康の保持推進を図る。
対象 (誰のために)	妊産婦、乳幼児
内容	乳幼児健康診査(乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査)、公害健康被害予防事業、妊婦乳児一般健康診査

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
乳幼児健康診査	1,200人(対象1,451人) 82.7%		
妊婦乳児一般健康診査	延 817 枚		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	9,604	国県補助金等	915	直接事業費		国県補助金等	
	人件費	11,292	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	20,896	市債	19,981	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.87	人
結果指標①		
結果指標名	乳幼児健診受診者数	
結果指標量	1,200	
単位	人	
対前年比	—	0.00%
事業費	20,896,000	円
単位当たりコスト①	17,413	円

結果指標②		
結果指標名	妊婦乳児一般健康診査受診券利用枚数	
結果指標量	817	
単位	枚	
対前年比	—	0.00%
事業費	20,896,000	円
単位当たりコスト②	25,576	円

事業の成果			
成果指標名	乳幼児健診受診率	式又は説明	乳幼児健診受診者数/乳幼児健診対象者数
成果指標量	17年度 83		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	90	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 母子保健法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	乳幼児健診受診率は、平成17年度は合併のため、前年度と正確には比較できないが、大幅な変化は見られていない。今後も引き続き受診勧奨していく必要がある。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度	結果指標量① 1,100人(対象 1,299人) 結果指標量② 880枚
目標値	成果指標量 85

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	健診未受診者へ受診勧奨を継続	随時	健診受診率の向上
効率性	乳幼児健診の本庁一括実施	H20.3まで	コストの削減